



沼津御用邸記念公園について

沼津御用邸は、明治26年、大正天皇(当時皇太子)のご静養先として造営されました。

本邸造営後も増築を重ね、完成時には建築面積約5750平米、100を超える部屋を備えた大規模な邸宅となりました。

太平洋戦争により本邸は全焼し、戦後まもなく御用邸が廃止されると、昭和45年より都市公園として一般公開され、今日では市民の憩いの場所として親しまれています。

平成28年には、近代以前から連綿と存続してきたクロマツ林やその林間から望む富士山など、近代日本における近郊海浜保養地の優れた風致景観を保持している点が評価され、公園の主要部分が国の名勝に指定されました。

大正ロマン食堂・娯洋亭

Taisho Romance Restaurant GOYOTEI



官舎を改装した洋食レストランで、当時の暮らしに想いを馳せながらハイカラメニューをお楽しみください。

営業時間 11:30～15:30



〈おすすめ〉

◀富士山キーマカレー
オムライス

売店

Shop



皇族方のお印を刺繍したお土産品やオリジナル和菓子などを販売しております。



〈おすすめ〉

女性皇族お印入り
ハンドタオル

◀オリジナル和菓子
水神餅
娯洋亭にてお召し上がり
いただけます

喫茶・主馬

Cafe SHUME



旧本邸の馬屋を改装した店内は、当時の余韻を残しています。お抹茶や軽食などをご用意しております。

※土日祝日のみ営業

Information

開園時間 9:00～16:30

入園料

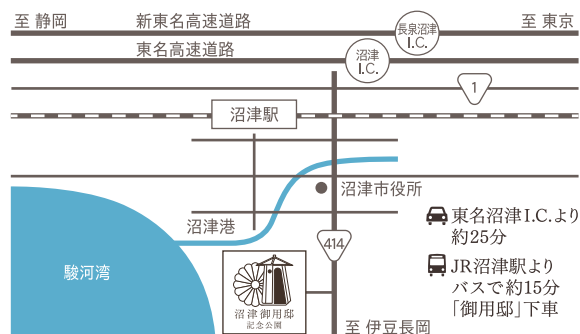
	大人	小・中学生
個人	100円	50円
団体	60円	30円
西附属邸観覧料込		
個人	410円	200円
団体	260円	130円

※団体は30名以上 ※未就学児は無料

駐車場

乗用車	無料
バス・マイクロバス	1,040円 / 台

近隣マップ



〒410-0822 静岡県沼津市下香貫島郷2802-1

TEL 055-931-0005 FAX 055-933-3614

<http://www.numazu-goyotei.com>



ガーデンツーリズム

富士・箱根・伊豆 皇室ゆかりの庭園ツーリズム

沼津御用邸記念公園は、皇室ゆかりの施設である神奈川県箱根町の神奈川県立恩賜箱根公園、御殿場市の秩父宮記念公園および三島市の三島市立公園楽寿園とともに、「富士・箱根・伊豆 皇室ゆかりの庭園ツーリズム」として国土交通省の「ガーデンツーリズム登録制度」に登録され、周遊性の向上や公園の新たな魅力創出、庭園技術・文化の伝承および地域活性化などに連携して取り組んでいます。



Numazu Imperial Villa Memorial Park
沼津御用邸
記念公園





1 西附属邸 West Annex



明治38年、昭和天皇の御用邸として造営されました。その後、数回の増築を経て大正11年に現在の形となりました。総面積1,270平米、部屋数26室の木造平屋建ては、国を代表する大変貴重な宮廷建築です。謁見所には畳敷きの上に絨毯が敷き詰められ、椅子やテーブル、シャンデリアなどの調度品からは和洋折衷の当時の生活ぶりを垣間見ることができます。

2 沼津垣広場 Numazu-Gaki Square



江戸時代以前より、駿河湾からの強い潮風や沿岸の砂から住人の生活を守ってきた沼津垣。今もなお同じ技法で作られ継がれています。

3 沼津市歴史民俗資料館 Numazu City History and Folklore Museum



平成22年に国の重要有形民俗文化財に指定された「沼津内浦・静浦および周辺地域の漁撈用具」など、貴重な資料を展示しています。

4 防空壕跡 Air Raid Shelter Site



太平洋戦争時に避難所として造られました。内部は8畳ほどの部屋と控え室があります。
※壕内は非公開

5 翠松亭 Sukiya-Style Tea House "Suisyoutei"



8畳の広間と4.5畳の小間で構成された数寄屋造りの茶室です。クロマツに囲まれ、緑豊かな庭園と建物の調和が見事です。併設される「駿河待庵」は、千利休による国宝「待庵」の写しとして貴重な茶室です。

6 東附属邸学問所 East Annex



明治36年、昭和天皇の御学問所として赤坂離宮の東宮大夫官舎を移築し、造営されました。本邸が戦災で消失すると、戦後は皇族の方々のご滞在にも利用されました。現在、この歴史的建造物は改修が施され、市民の文化・教養活動の拠点として、旧学問所の伝統が継承されています。
ご利用のお問合せ：TEL/FAX.055-931-2233

7 奥駿河湾の眺め View of Oku-Suruga Bay



北には富士山と牛臥山を望み、伊豆半島西北端の大瀬崎が大きく張り出した雄大な眺望は、皇室の方々にも深く愛されてきました。